
[成果情報名] 11月，12月播種に適した飼料麦単播と飼料麦・イタリアンライグラス混播
[要約] 11月，12月に播種する場合、単播ではエンバク「スーパーハヤテ隼」、ライムギ「春一番」、ライコムギ「ライコッコ」の収量が高く、混播では飼料麦にオオムギ「ワセドリ二条」、エンバク「スーパーハヤテ隼」を利用すると高収量になる。

[キーワード] 飼料麦、イタリアンライグラス、混播

[担当部署] 畜産環境部・飼料チーム

[連絡先] 092-925-5177

[対象作目] 飼料作物 [専門項目] 品種選定 [成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

本県における飼料作物の主体は秋冬作のイタリアンライグラスであり、飼料作物の約5割を占めている。イタリアンライグラスは多収で栽培が容易であるが、低温時の生育が遅いため、播種期が遅れると収量が減少しやすい。

一方、飼料麦は低温時の生育が良好であるため、気温の低い11月や12月に播種する場合にはイタリアンライグラスよりも有利なことが多い。

このため、11月，12月に播種する飼料麦単播および飼料麦・イタリアンライグラス混播における収量性を比較検討し、適品種と混播に適した品種の組み合わせを明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1．飼料麦単播、飼料麦・イタリアンライグラス混播において、11月上旬播種は12月上旬播種と比べ、乾物収量が1回刈りの単播では50ポイント程度、2回刈り可能な混播では30ポイント程度多くなる（表1）。

2．11月，12月に播種した飼料麦単播はライムギ「春一番」の乾物収量が最も多いが乾物消化率がやや低いため、可消化乾物収量ではエンバク「スーパーハヤテ隼」、ライコムギ「ライコッコ」と同程度になる（表2）。

3．11月，12月に各種飼料麦とイタリアンライグラスを混播する場合、イタリアンライグラスの品種は早生品種「ニオウダチ」と晩生品種「マンモスB」のどちらを使用しても乾物収量に差は無く、品種の違いによる影響は少ない（表3）。

4．11月，12月に各種飼料麦とイタリアンライグラスを混播する場合、同時期に播種したイタリアンライグラスの単播と比べ、乾物収量は20～60ポイント多くなり、混播する飼料麦の品種はオオムギ「ワセドリ二条」、エンバク「スーパーハヤテ隼」を利用すると高収量が得られる（表4）。

[成果の活用面・留意点]

1．11月，12月に飼料麦単播、飼料麦・イタリアンライグラス混播を行う際に活用できる。

2．飼料麦の生育期間は草種により大きく異なるので、後作の栽培時期を考慮して草種を決める必要がある。

3．播種時期が遅くなると収量が低下するので、なるべく早い時期に播種する。

[具体的データ]

表 1 播種時期別の乾物収量 (平成14～15年)
(kg/10a)

| 麦品種 | 麦単播 | | 麦・イタリヅ混播 | |
|---------|-------|------|----------|-------|
| | 11月播 | 12月播 | 11月播 | 12月播 |
| ニシホシ | 913 | 580 | 1,199 | 880 |
| ミルコ-ルト | 742 | 586 | 1,235 | 961 |
| ワトリ二条 | 892 | 568 | 1,394 | 1,084 |
| 好イキ | 1,045 | 672 | 1,370 | 982 |
| スパー-ルヤテ | 1,161 | 739 | 1,481 | 1,049 |
| 春一番 | 1,212 | 888 | 1,286 | 1,104 |
| ライコッコ | 1,082 | 765 | 1,333 | 880 |
| 平均 | 1,007 | 685 | 1,328 | 991 |

注) 1. 播種日: 11月5日～11月7日、12月3日
 2. 収穫日: 4月16日～5月31日(1番草)、5月22日～6月25日(2番草)
 3. 混播の収量はイタリヅにニホシとマンモスを用いた平均
 4. 単播は1回刈り、混播は2回刈り合計

表 2 単播の収量 (平成14～15年)
(kg/10a)

| 品種 | IVDMD(%) | 乾物収量 | 可消化乾物収量 |
|---------|----------|-------|---------|
| ニシホシ | 57.4 | 747 | 429 |
| ミルコ-ルト | 58.2 | 664 | 386 |
| ワトリ二条 | 55.2 | 730 | 403 |
| 好イキ | 45.9 | 858 | 394 |
| スパー-ルヤテ | 48.8 | 950 | 463 |
| 春一番 | 43.1 | 1,050 | 452 |
| ライコッコ | 51.1 | 923 | 472 |
| ニホシ | 48.0 | 793 | 381 |
| マンモス | 52.0 | 869 | 452 |

注) 1. 播種日: 11月5日～11月7日、12月3日
 2. 収穫日: 4月16日～5月31日(1番草)、5月22日～6月25日(2番草)
 3. 麦は1回刈り、イタリヅは2回刈り合計

表 3 混播におけるイタリヅイグラス品種毎の乾物収量 (平成14～15年)

| 播種 | イタリヅ 品種 | 1番草 | | | 2番草 | 合計 |
|----|------------|-----|------|-----|------|-------|
| | | 麦 | イタリヅ | 計 | イタリヅ | |
| 混播 | ニホシ | 670 | 274 | 944 | 204 | 1,149 |
| | マンモス | 649 | 284 | 933 | 238 | 1,171 |

注) 1. 播種日: 11月5日～11月7日、12月3日
 2. 収穫日: 4月16日～5月31日(1番草)、5月22日～6月25日(2番草)
 3. 収量は麦にイグ(ニホシ、ミルコ-ルト、ワトリ二条)、イグ(好イキ、スパー-ルヤテ)、ライコッコ(春一番)、ライコッコ(ライコッコ)を用いた平均

表 4 混播における飼料麦品種毎の乾物収量 (平成14～15年)

| 播種 | 品種 | 1番草 | | | 2番草 | 合計 |
|------|---------|-----|------|-------|------|-------|
| | | 麦 | イタリヅ | 計 | イタリヅ | |
| 混播 | ニシホシ | 508 | 264 | 772 | 268 | 1,040 |
| | ミルコ-ルト | 476 | 300 | 776 | 322 | 1,098 |
| | ワトリ二条 | 686 | 195 | 881 | 358 | 1,239 |
| | 好イキ | 699 | 334 | 1,033 | 143 | 1,176 |
| | スパー-ルヤテ | 795 | 263 | 1,058 | 207 | 1,265 |
| | 春一番 | 807 | 255 | 1,062 | 133 | 1,195 |
| | ライコッコ | 647 | 343 | 990 | 116 | 1,106 |
| イタリヅ | ニホシ | - | 453 | 453 | 340 | 793 |
| 単播 | マンモス | - | 676 | 676 | 193 | 869 |

注) 1. 播種日: 11月5日～11月7日、12月3日
 2. 収穫日: 4月16日～5月31日(1番草)、5月22日～6月25日(2番草)
 3. 混播の収量はイタリヅにニホシとマンモスを用いた平均

[その他]

研究課題名: 暖地における飼料麦の安定栽培技術開発

予算区分: 国庫受託(ブランドニホシ系)

研究期間: 平成15年度(平成13～15年)

研究担当者: 太田 剛、家守紹光、馬場武志、高椋久次郎

発表論文等: 平成13、14年度畜産関係試験成績書